

令和3年度第2回富津市創生会議 会議録

1 会議の名称	令和3年度第2回富津市創生会議
2 開催日時	令和4年3月29日(火) 午後1時30分～午後3時20分
3 開催場所	富津市役所1階 大会議室
4 審議等事項	1 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について 2 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画(2022年度当初予算版)について
5 出席者名	富津市創生会議委員(8名) 青木 和彦、岩沢 宏幸、小宮 圭介、島野 勝弘、 鈴木 敏夫、鈴木 文江、森田 泰彰、山口 拓也 事務局(10名) 市長 高橋 恭市、副市長 小泉 義行、 総務部長 中山 正之、総務部参与 石川 富博、 総務部次長 市原 岳人、企画課長 阿部 淳一郎、 企画課課長補佐 田内 友臣、企画課主任主事 野尻 剛史 企画課主任主事 牧野 圭吾、企画課主任主事 田澤 佳美 事業担当課(38名)
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	0人(定員 5人)
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和3年度第2回富津市創生会議 会議録

発言者	発言内容
事務局	<p>委員の皆様方におかれましては、本日はご多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>開会に先立ちまして、委員の皆様にご報告をさせていただきます。</p> <p>本会議の委員を務めていただいております木出寄幸司様が、昨年10月にご逝去されました。心からお悔やみを申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。</p> <p>続きまして、広瀬委員が人事異動によりまして千葉銀行富津支店から異動されましたことから、ご後任として支店長を務めておられます小宮圭介様に本会議の委員にご就任いただいております。後ほど、ご挨拶をいただきたく存じます。</p> <p>以上が、ご報告となります。</p> <p>続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。着座にて失礼いたします。机上配布させていただいた「会議次第」、「席次表」、「市出席者一覧表」、「富津市創生会議委員名簿（令和4年3月1日現在）」、「事前に送付させていただきました「令和3年度第2回富津市創生会議について」、「令和4年度における重点施策等について」、「資料1 令和4年度施政方針」、「資料2 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」、「資料3 第2期総合戦略新旧対照表」、「資料4 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2022年度当初予算版）」、以上が本日の会議資料でございます。資料はお揃いでしょうか。</p> <p>1 開会</p>
事務局	<p>それでは、ただ今から、令和3年度第2回富津市創生会議を開会いたします。</p> <p>はじめに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。11名の委員のうち、青木一美委員、小泉委員、丸委員におかれましては、本日欠席のご連絡をいただいておりますので、出席委員8名、欠席委員3名でございます。従いまして、富津市創生会議設置要綱第6条第2項の規定により、半数以上のご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことを、ご報告申し上げます。</p> <p>続きまして、会議の公開についてですが、本日傍聴者がいないことを、ご報告させていただきます。</p> <p>また、会議録作成のため録音させていただきますのでご了承願います。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、質疑応答の際は、着座にてマイクをご使用いただき、都度アルコール消毒を行いますので、係員へ受け渡しいたきますようお願いいたします。</p> <p>2 市長挨拶</p>
事務局	<p>続きまして、開会に当たり、高橋市長からご挨拶を申し上げます。</p>

高橋市長

こんにちは。はじめに、ただ今事務局から報告ありましたが、本会議の委員を務めていただいております木出寄幸司様が昨年 10 月にご逝去されました。皆さんご承知のとおり、木出寄様におかれましては、学校の先生として長く市内の各学校にお勤めいただき、その経験、人脈を活かして、地域の活性化のためにもご尽力をいただいております。心よりお悔やみを申し上げる次第であります。

あらためまして、本日は大変お忙しい中、委員の皆様には令和 3 年度第 2 回富津市創生会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、広瀬委員の後任として、千葉銀行富津支店、小宮圭介様におかれましては、本会議より委員としてお務めいただくこととなりました。どうぞ忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

さて、早速ですけれども本日の会議ですが、「第 2 期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」及び「第 2 期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2022 年度当初予算版）について」を議題とさせていただきます。詳細につきましては、後ほど事務局から説明をさせていただきますが、委員の皆様方からご意見等をいただきたいと思いますと考えています。委員の皆様には、総合戦略の着実な実行のために活発なご議論をいただきますようお願い申し上げます。

また、富津市では令和 4 年度に「富津市みらい構想」を策定し、市が目指す 10 年後の将来像を市民の皆さんにわかりやすくお示するとともに、その実現に向けて市民の皆さんと取り組んでいくこととさせていただいています。そのみらい構想の中におきまして、この総合戦略を優先計画として位置付けているということ、あらためてこの場をもってご報告させていただきたいと思っております。

ご案内のとおり長引くコロナ禍であります。コロナのみならず、私たちがここ数年では想像もしていないような大きな変化が、世界中、日本中、そしてこの富津市でも起きていると感じています。どのような時代にあっても市民の皆さんとしっかりとお互い理解し合いながら、住んでよかったと思っただけの富津市づくりのために、今後とも市役所一丸となって進めていきたいと考えておりますので、委員の皆様には引き続きのご理解、ご協力、そして、ご指導いただきますようお願い申し上げます。会議冒頭の挨拶といたします。よろしく願いいたします。

3 会長挨拶

事務局

続きまして、岩沢会長からご挨拶をお願いいたします。

岩沢会長

ただ今、ご紹介いただきました岩沢です。どうぞよろしくお願いいたします。

まずは、年度末のお忙しい中、ご出席された委員の皆様、それから富津市の職員の皆様、この会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、富津市の皆様には、先ほど市長のお話にもありました

が、このようなコロナ禍の中で、自分の危険を顧みずに市民へのサービスを提供していただきまして誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

さて、この会議ですが、1年半ぶりのリアルでの会議です。今までは書面会議ということで、いろいろな資料をいただいて、各委員の皆さんの方からそれに対する質問や意見をいただいて、また富津市の皆さんの方からそれに対する回答や意見をいただくという形で開催をさせていただいております。これについても、継続的に開催していただいて非常にありがたいと思っています。

ただですね、やはり書面の会議だけだと、細かい点がわからなかったり、ご意見の中身等がわからない部分も出てしまうのかなと思います。今回、そういった中で、この会議を開催していただきまして本当に感謝しております。

住んでいて良かった、暮らして良かった、健康で長寿でいられる、というように富津市をより良くしていただくために委員の皆様から忌憚のない意見を出していただくこと、それから、富津市の皆様にも、そういった意見を反映して行政に返していただくということがありがたいと思いますので、ぜひ本日の会議もよろしく願いいたします。

はい、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

ここで、本年2月1日付けで富津市創生会議委員にご就任いただきました小宮圭介様におかれましては、今回が初めての会議参加となりますので、恐れ入りますが、一言ご挨拶をいただきたいと思います。小宮様お願いいたします。

小宮委員

ただ今、ご紹介いただきました千葉銀行富津支店支店長の小宮でございます。広瀬の後任として、2月1日付けで着任しております。

この度、富津市創生会議の委員になれたこと、大変光栄に思っております。地域金融機関を代表いたしまして、微力ながらお役立ちできるようにしっかり務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

続きまして、本会議の対面方式での開催につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年10月以来となっております。本日も、感染防止対策を講じた中で開催させていただいておりますが、この間、市でも人事異動によりまして事務局職員が交代しておりますので、該当職員のみご紹介させていただきます。

総務部長の中山です。総務部参与の石川です。企画係の牧野です。

以上で事務局職員の紹介を終わります。

それでは、ここからは、富津市創生会議設置要綱第6条第1項により、会長に議長となつていただき、進行をお願いします。

岩沢会長、よろしくお願い致します。

岩沢会長

まず始めに、本日の会議録署名委員を指名させていただきます。島野委員と鈴木文江委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4 議題

議題1 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について

岩沢会長

それでは、議題に入ります。
はじめに、「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」、事務局の説明を求めます。

事務局

企画課長の阿部でございます。よろしくお願いいたします。
私から、議題（1）「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」ご説明申し上げます。着座にて失礼いたします。
資料1をご覧ください。
まず、1の改定趣旨についてですが、今回の改定は、「第2期総合戦略に掲げる施策を推進するに当たり、2022年度における新規事業等で、当該施策の推進に資するものを追加する。」というのが趣旨となっております。
次に、2の改定内容について、ご説明申し上げます。
具体的な改定内容は、資料2の「第2期総合戦略新旧対照表」にて、ご説明申し上げます。資料2をご用意ください。
それでは、資料2の1ページをご覧ください。
基本目標1の下に掲げる「基本的な施策の方向② のびのび学ぶ教育環境を整える」における「行政の取組」について、施策2「子どもの学力向上推進」の事業に、「読書活動推進事業（学校教育課）」を追加いたします。
2ページをお開きください。
基本目標2の下に掲げる「基本的な施策の方向① 地域の魅力をより多くの人に伝える」における「行政の取組」について、施策1「地域の魅力を再発見し、その魅力を地域内外の人々に発信することによる地域への愛着の醸成」の事業に、「鋸山日本遺産認定推進事業（生涯学習課）」を追加いたします。
3ページをご覧ください。
同じく、基本目標2の下に掲げる「基本的な施策の方向② 自慢できる地域力を高める」における「行政の取組」について、施策4「地域における生涯学習活動、スポーツ及びレクリエーションの振興」の事業に、「図書館整備事業（生涯学習課）」を追加いたします。
また、「図書館整備事業」の目標値として、「図書貸出券登録者数5.37%（2020年度）⇒16%（2024年度）」を追加いたします。
5ページをお開きください。

基本目標3の下に掲げる「基本的な施策の方向② 移住しやすい環境を整える」における「行政の取組」について、施策1「都心へのアクセスの良さと豊かな自然を兼ね備えたライフスタイルの発信」の事業に、「ステイふつつ移住促進事業（企画課）」を追加いたします。

以上が改定内容となります。

続きまして、同じく資料2の7ページをお開きください。

今回の改定に伴い、「資料編」に「2022年3月改定時追加資料」として、「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」、「富津市創生会議委員名簿（2022年3月1日現在）」、「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定経過」を追加しております。

以上で、説明を終わります。

岩沢会長

ありがとうございました。

ただ今、事務局の説明が終わりました。ご意見等ございましたら、お願いいたします。

委員

ー特に無しー

岩沢会長

それでは、ご意見等ないようですので、以上で、議題（1）「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について」を終了します。

議題2 第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2022年度当初予算版）について

岩沢会長

続きまして、議題（2）「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2022年度当初予算版）について」を議題といたします。

まずは、事務局からの説明を求めます。

事務局

議題（2）「第2期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画（2022年度当初予算版）について」ご説明申し上げます。

資料3の冊子をご用意ください。

86ページをお開きください。

一例として、「ふるさとふつつ応援寄附」のシートとなりますが、今回、策定いたしました「2022年度当初予算版の実行計画」は、昨年度末に策定の「2021年度当初予算版の実行計画」について、年度別事業内容、事業の自己評価、事業成果等を、2022年度当初予算等の内容に更新し、各事業の2024年度目標値に対する達成度、取組状況について取りまとめたものです。

また、シートの一番下になりますが、今回から各年度の実績について、その達成状況をAからDの4段階で記載しております。

本実行計画につきまして、委員の皆様からご意見等をいただき、今後の事業実施の改善方策として取りまとめてまいります。

以上で、説明を終わります。

岩沢会長

ありがとうございました。
ただいま、事務局の説明が終わりました。
それでは始めに、基本目標1と基本目標2について、ご意見等をお願いします。資料については、資料4の12ページから65ページまでとなります。ご意見等ございましたら、お願いいたします。

山口委員

本日はよろしく申し上げます。資料はパソコンで見ているので、そういうものだと認識してもらえたらと思います。
質問の前に、全体の方向性として、自分が年齢的なものと事業としてウェブ関連の事業をしているということもあって、そういった関連のものについて主に質問などしていけたらと思っています。
というわけで早速、質問をできたらと思ひまして、12ページの「ふつつ子育てきずなLINE配信事業」の質問なんですが、今後はPRに努めていきたい、新規登録者を増やしていくということですが、実際どうやって増やしていくのか。そのための予算とか、時間などはどうなっているのかというところを聞けたらと思っています。

子育て支援課

ふつつ子育てきずなLINEにつきましては、妊娠届を提出いただいた際に、おめでとうカードと言ひまして、バースデーカードのような、おめでとうとメッセージが書いてあるものにきずなLINEのQRコードを添付し、個別にお配りしていますので、これを継続していきたいと思っています。それから、ふつつ子育てきずなLINEの方で、公式LINEの下にメニューボタンがあるんですけども、そちらをワンクリックしていただくと登録画面に飛ぶような作りになっているので、その辺の周知を徹底していきたいと考えています。

山口委員

ありがとうございます。
自分も仕事でLINEを使った顧客とのコミュニケーションを推進したりとかしているんですけど、LINEを使うとコミュニケーションがとりやすくなると思うので、登録の動線とかをより詰めるといいのでは、とあらためて思ひました。

青木（和）委員

36ページの「きめ細かな学校教育推進事業」ですけれども、ティームティーチングの件で市内小中学校に12名を配置するとなっています。たしか、2020年度は5校に7名というようなことで報告を受けたような気がします。2022年度については、どのくらいの人数の補助教諭を予定しているのかお伺ひしたいと思います。また、予算から見ると、そんなに極端に上がってはいないのかなと思うので、その辺をお伺ひしたいと思います。

それともう1点、37ページですね。「読書活動推進事業」というのが新たに組み込まれています。これに対しては、読書支援員の雇用ということで書いてありますが、その中には学校図書整備、図書室整備というように書いてあります。各小中学校の図書室の図書がどのくらいと

	<p>か、図書を新たに購入するののかとか、その辺がどのような計画でいるのかお伺いしたいと思います。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>前段にご質問いただきました補助教諭の数については、手元資料が無く、正確を期すため、あらためてお応えしたいと思います。申し訳ございません。</p> <p>それから、読書支援員という名称でスタートします学校図書館に対する支援ですが、こちらについては、読書支援員3名を配置しまして、学校図書館の整備、これに充てるというものです。特に、市内の学校図書館における蔵書数は、やや不足している面もありますが、開館の仕方、見せ方、子どもへの案内の仕方、こういったものを工夫することによって、まだまだ活用できる学校図書館になっています。図書館が教室と距離が離れていますので、こういった面で子どもと図書館を近づけていく役割を果たす、読書案内のできる大人、読み聞かせなどの学習支援など、直接子どもと関わりながら読書教育を推進できるような人材ということで、来年度から配置させていただく予定となっています。</p>
<p>青木（和）委員</p>	<p>ありがとうございます。それでは、図書の蔵書というものは組み込まれていないということでしょうか。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>蔵書を増やしていくかという点については、後ほど回答させていただきます。</p>
<p>島野委員</p>	<p>島野でございます。久しぶりなので、何を聞こうかなと思っているんですが、まず、今回の実行計画のところにPDCAを意識して達成度を書かれたのは、この会議の場でも、PDCAを意識してどう思っているのか、上手くいっているのかという質問も結構出ていたので、反映されて良かったと思っています。委員として非常に感謝しております。ということで、良くなっているんだなと思いながら見ておりました。</p> <p>私の質問はまず2つありまして、項目ごと、基本目標1から4に対して富津市として、普通に他の自治体でもやっていることと、富津市独自の取組、特徴的な取組というのがそれぞれあると思っていまして、それはどういうところにあるのかというのを基本目標ごとに教えていただけるといいかなと思ったのが1つ。</p> <p>それから、せっかくPDCAを回していただいているので、ここ何年かでこの施策は上手くいったというものがあれば、基本目標ごとに1つずつくらいご紹介いただけるといいなと思っていまして、是非上手くいった事例などを共有いただけると助かります。よろしくお願いします。</p> <p>部局を跨いでしまっているもので、質問が難しかったですかね。</p>
<p>企画課</p>	<p>ただ今の質問ですが、2022年度については、他の市との比較はしていませんが、資料1でお配りいたしました令和4年度の施政方針で、8つの柱を示しております。「安全、安心なまち」、「子育てしやすいまち日本一」、「健幸都市」、「快適で便利なまち」、「教育環境改善」、「産業が元気</p>

なまち」、「誰もが住んでよかったと実感できるまち」、「健全財政のまち」という柱を掲げまして、2022年度の事業を実施していこうと決意を新たに事業の推進に進んでいるところです。

それから、実行計画の一番下の事業成果に、上手くいっている、いっていないというところで、「A」は達成率が100%以上、「B」は80%以上100%未満、「C」は50%以上80%未満、「D」は50%未満という形で表記をそれぞれしています。どの事業が上手くいっているかという点については、「A」ランクを付けているものになりますが、例えば、18ページ、19ページの「切れ目のない子育て支援の実施」に関する事業については2020年度、2021年度においても「A」ランクとなっています。

島野委員

ありがとうございます。

横通しの質問なので答えにくい部分もあるのかもしれませんが、せっかく担当部局の皆さんがこれだけ揃っているから、俺のところはこんなに上手くいったと自慢してほしいなと、そうすると委員としても元気になるなと思いましたので質問させていただきました。是非自慢していただければと思います。よろしくお願いします。無理にとは申しませんが。

岩沢会長

なかなか言い出しづらいかもしれませんが、各部署で反響が良かったというものがありましたら、言っていただくとありがたいかなと。遠慮しなくていいと思います。

島野委員

上手くいかなかったものを責めるつもりではなく、上手くいったものを教えてほしいなと思っただけです。

高橋市長

島野委員には大変ご配慮いただきありがとうございます。各担当の方からはなかなか自分のことなので言いづらいというところもあるかなと思います。私も同様でありますけども、せっかくの機会ですので、いくつか私の方から伝えさせていただきたいと思います。

「子どもの笑顔があふれるまちへ」という点では、「すくすくギフト」という新たな取組を始めさせていただいています。その前にはおむつを捨てるためのごみ袋の支給といった本当に細かいものからスタートしておりますけれども、この2つの事業については、お母さんたちに喜ばれている事業ではないかと思っています。また、これから意見をいただきながら制度としてブラッシュアップしていく部分もあるだろうと感じています。

子育て施策については、私も市長6年目になったわけですがけれども、やはり対象となる方たちが常に変わってくるという点で、非常に難しい点もあるなと正直感じています。ですからやはり、満足することなく、毎年毎年何かできることがないかと担当の方も常に考えてくれていると、市長としてもすごく感じているところです。今後そういう気持ちを忘れずに取り組んでまいりたいと思っていますし、ちょっとこれは、というのが、先ほど担当からお話がありました「子育てきずなLINE」です

けれども、当初は富津市の公式 LINE と同じアカウントでスタートしました。今後検討する余地があるのかもしれないですが、様々な情報を発信することによって、情報が多すぎて見る気になれないという意見もあったかと思えます。そうした中で、担当が声に耳を傾けて子育てに関しては分離したということでもありますので、こういった形でやり始めたことを固定するのではなくて、改善、改善ということを考えて取り組んでまいりたいと思っています。

また、道半ばではありますけども、私自身思い入れのあるものとしては、現在鋸山が日本遺産の候補になっています。あくまでも候補でありますので、3年後にあらためて結果が出るわけですから喜んではいられないと思えますけれども、候補になったことによって取り組みが始められている事業もいくつもござります。是非この3年間という時間を大切にして、なんとか日本遺産に辿り着きたいと思っています。この3年間でいかに調査研究をするか、そしていかにいろいろな方と繋がりを持って、鋸山をもっともっと魅力的な、安全な観光地にしていくかということ行政としてしっかりやっていきたいと思っております。

大変大きな部分でしかお話しできずに申し訳ありませんけれども、基本目標1、2の部分で主なもので記憶に残っているということで発言させていただきました。よろしくお願いいたします。

島野委員

ありがとうございます。

こういう場を建設的な場にするためには、上手くいったことを自慢していただくのも大事かなと思ひまして、あれダメ、これダメとダメ出しするのはとても簡単で、いくらでも申し上げることはあるわけですけども、それだと職員の皆さんも元気も出ないだろうなと思っておりますので、是非よろしくお願いいたします。

あと、気が付いた点で申し上げますと、例えば、私は民間企業におりますので、達成度が「A」ということになる、来年度は目標あげるんだよね、と当然のように民間企業は言われる訳であります。なので、不満があるとすると、「A」が付いているのに、なんで来年度の目標は据え置きなのかと、民間のメンバーからは見えなくて、その辺、目標を上げるとか、さらにこういうところを改善するとか。まあ数字自体を増やすことが目標ではないと思ひますので、そのあたりも少しご配慮いただくと良いと思ひます。

あと、非常に好ましいなと思うのが、外から見ていると役所というのは予算主義なのかと思ひている部分があるんですけども、事業費0円の施策が書いてあって、こういうの好きだなと思ひました。職員の皆さんの創意工夫をそういうところで感じられるかなと思ひますので、額の大小はあるかもしれませんが、事業費0円であってもこんなことに取り組んでいますというご紹介は、すごく心強いなと思ひます。上手くいった、いかないというのものもあるかもしれませんが、それはそれで、上手くいかなければすぐ次の方法に見直すということをしていけばよろしいかなと思ひますのでよろしくお願いいたします。

岩沢会長

今の意見は要望ということでよろしいですか。

島野委員

はい。

小宮委員

いろいろな実行計画を拝見させていただく中で、島野委員からもお話がありましたが、達成率が明確に出るようになったのは非常にわかりやすく、良い反面、いろいろなどころが見えてくるんですけども、計画の中で助成型、給付型の事業は比較的達成率が良いと思います。今回、その中で図書に関する事業が学校図書と図書館整備の2つが追加されています。今回私が初めて出席するので、前回議論があったのかもしれませんが、なぜ図書に関する事業が追加されたのか教えていただきたいと思っています。

生涯学習課

教育長がかねがね申しているのは、近頃子どもたちはゲームをする時間はどんどん増えているのにも関わらず、読書時間が減っている傾向にあると。これは、調査しても如実に表れていて、この傾向は子どもに限ったことではなくて、我々大人の鏡でもあるところもございます。その先にあるのは、学校の成績を分析した結果、全ての科目において長文読解を求められる問題の解答が著しく低いというのが当市の特徴となっています。残念ながらそのような傾向がございます。

そういったことを憂慮しまして、読書の習慣付けが当市において教育の根本を作る最も重要な施策であると考えて、ここ数年動いております。学校の読書環境の整備ですとか、また、公民館や移動図書館の図書施設のネットワーク化を令和2年2月に導入しました。当市は図書館の無い市としても有名ですが、図書施設全体として一つの図書館のような機能を充実させていこうという施策をとってまいりました。

市民ボランティアの力も借りて、貸出冊数は全国的に平成21年頃がピークだったものが、段々とV字回復しまして平成30年頃にそのピークを超えるような勢いがありました。その矢先に台風やコロナ禍によってダウンはしましたが、市民活動ですとか職員の意識も変わりまして、それぞれの施設の改革に取り組んだ結果だと思っています。

イオン図書館の提案については今回が初めてではなく、その際は当市の破綻報道等もありまして見送りましたが、昨年度、提案を受け入れたというところでございます。

小宮委員

ありがとうございます。私も基本的には、子どもの読書する習慣とかは教育上非常に大切だと思いますので、是非この事業を、図書の充実等を含めて上手くいくといいなと思っています。

森田委員

さっきの島野さんのですけど、89ページの新規就農者の件については、農林水産課が恥ずかしくて言わないですが、毎年相談も増えて、新規就農する人も増えてきていると思います。その人たちに聞くと、新規に就農するのにあたり、周りの市等にも相談に行くそうですが、富津市が一番親身になって聞いてくれると。台風の被害で再建しなくてはい

	<p>けないというのですごく忙しかったと思いますが、その台風の被害も早く再建できた。それもやりながら新規就農者をどんどん就農させていくことができているのでいいと思います。</p>
岩沢会長	<p>ありがとうございます。今のは意見ということでもいいですね。今の89ページの件は、後半の方でやらせていただきますけど、そういった良い意見があったということです。</p>
鈴木（文）委員	<p>子育てのところですが、電子母子手帳というのは、妊娠届を出された方全員ではないですよ。スマートフォン等を持っている方だけが登録できるものだと思いますが、そんなに反映されていないのかもしれませんが、それを利用することによってヘルパーの派遣を受けられたり、又は初心者のお母さんが沐浴の方法ですとか、動画配信が利用できるということで少しずつ出ていますが、あまり利用はされていないのでしょうか。</p>
健康づくり課	<p>現在の登録者数は346名となっています。こちらの事業につきましては、鈴木委員のおっしゃったとおり、沐浴の方法等を動画で紹介させていただいたり、予防接種の日程等についても周知ができるということになっております。こちらの紹介については、妊娠届の時点あるいは各教室の中で保健師から紹介させていただいています。</p>
鈴木（文）委員	<p>登録は346名ということで、アクセスとか相談される方はどのくらいなのでしょう。</p>
健康づくり課	<p>電子母子手帳を利用した中での相談ということですが、特に保健師の方に直接は無いです。ただ、富津市としましては、妊娠届の時に直接保健師あるいは専門職が対応させていただいた中で相談等をさせていただいている状況ですので、もしかするとその中で解決されているところもあるのかなと思っております。</p>
鈴木（文）委員	<p>見方によっては、より悪いそういう心配が無いという状況なのかもしれませんね。わかりました。 対面で相談することが気になる方は、こういうのはとても良い利用の仕方かなと思って伺いました。</p>
島野委員	<p>せっかく電子母子手帳の話がありましたので、少し被せて確認させていただければと思います。 普通の母子手帳を持っている方の大体何%くらいの方が電子母子手帳になっているのでしょうか。</p>
健康づくり課	<p>今年度の実績ですと、約130名の方が妊娠届をあげており、約45名の方が電子母子手帳の登録をしています。</p>

島野委員	<p>ありがとうございます。その数字が大きいのか小さいのか私にはわかりませんが、割といい数字なのかなと素人ながらに思いました。</p> <p>私自身も課題に思っていることで、登録すれば予防接種の案内がいくという話だったと思いますが、どうしても役所は申請主義になるので、予防接種とかであれば、自動的にプッシュ配信の形でお知らせできないかなと思います。そういったことは考えられないでしょうか。</p>
子育て支援課	<p>予防接種については、妊娠届が出た中で周知をさせていただく文書の中に時期等を明示したものをまず配らせていただいています。電子母子手帳については、生年月日等を登録すると予防接種の時期をプッシュ配信するようになっています。</p>
島野委員	<p>ありがとうございます。素晴らしいですね。</p> <p>これに限らず、そういったものあるのかなとっていて、例えば先ほどの図書館については、電子的な図書で配るというのも他の自治体ではやられているようですし、わざわざ本という物理的なものに限らず、富津市は人口密度が低いので、電子的に頼れるところは頼るということも一部必要なかなとっています。母子手帳の取組などはとても良いと思いますので、それを上手く他の業務にも展開できるよう工夫がされるといいと思いました。</p> <p>子どもたちはもうクロームブックを持っているので、それに対して電子的に図書を配付するというのもできるのではないかと思います、その辺はどうでしょうか。</p>
生涯学習課	<p>図書館の開館の目標は約一年後の令和5年4月です。来年度予算で計上しています電子図書館をプレオープンとして1月頃から導入する予定となっております。</p>
島野委員	<p>素晴らしいですね。ありがとうございます。そういったところも発信していただけると助かります。</p> <p>個人的には今年くらいからマイナンバーカードを作って確定申告がすごく便利になりました。マイナンバーカードは役に立たないといろいろな人が言いますが、マイナンバーカードで必要な書類が揃ったりするので非常に利便性が高くなっていると思います。国レベルの取組もあるんですけど、市レベルの取組でもこんなことをやっていただけないかなと思います。</p>
山口委員	<p>44 ページの「ふっつの魅力発信事業」について、質問できたらと思います。事業成果の方が LINE、Facebook、Instagram のフォロワー数等になっていると思いますが、実際ここを意識して運用しているわけではないのかなと思うんですね。サイトの更新を見ると。</p> <p>質問の1つ目としては、実際はどの部分に注力してこのウェブ上での広報業務をしていく予定なのかということと、もう1つ、質問というか気になる点としては、ウェブの SNS とかは発信も早いので目標の指標</p>

自体を変えないといけないと思うんですが、変えにくいとは思っているので、変えにくい中でどうやっていこうと考えているのか聞けたら幸いです。

秘書広報課

今お話をいただいたウェブでの広報ということですが、市では以前からホームページが主力で、その他にいろいろなものを追加していったというところがございます。Facebook、LINEについては令和2年11月1日からスタートしています。ツイッターについては令和3年8月からということで、いろいろな形で発信をするというところに着眼しています。この他にも安全安心メールでいろいろな情報を発信しており、ベンダーによって使うツールが違うということもありますので、どのような形で皆さんにお届けするか、いろいろな選択肢を作りまして情報をご覧いただいているというところがございます。それに合わせて災害時などについても、1つのものがダウンしてしまった場合でも他のところから情報を仕入れることも可能になりますので、それも含めてこのような形で進めています。

また、目標値ですが、LINE公式アカウントの友達数については、2021年度に目標を達成したということで、目標数値を上げて設定しています。ただ、今お話がありましたようにこの数字だけが全てではないということもありますので、いかにして皆さんに情報をお届けするかというところが一番重要だと思っています。

また、ご紹介をさせていただきますと、ホームページを市制施行50周年の記念として今年度の9月1日から刷新しております。アクセス数についてご紹介させていただきますと、令和2年4月1日から令和3年3月31日までのアクセス数が158万2810アクセスでした。それに対しまして今年度ですけれども、2月28日までの数字になりますが、268万7687アクセスであり、1カ月残す中で110万程度のアクセス数の増が見られています。これにつきましては、コロナ禍ということもあって多くの方がホームページをご覧いただいているのかなというところもありますが、担当としましては、見やすくなったことでご覧になれる方も増えてきたのかなと考えています。今後も皆さんにどのような形で情報を届けたらご覧いただけるのかというところに注力して進めていきたいと考えています。

山口委員

ありがとうございます。追加で質問させていただいていいでしょうか。今のアクセス数は、ユニークユーザーなのかページビューなのかでいうとどちらなのでしょう。

秘書広報課

ページビューだと思われます。

山口委員

ホームページリニューアルはどなたがやられた形なのでしょう。

秘書広報課

市の担当と委託業者の方で、最終的には委託という形で更新を行いました。

山口委員	委託業者がどういった企業なのか、そこまで聞いてもよろしいですか。
秘書広報課	株式会社キシステムという業者です。
山口委員	ありがとうございます。あともう2つほどあって、先ほどの目標指標がどうなるのかというところで、例えば新規の SNS が今後出てきた時に、それに取り組むのか。また、Facebook は昔に比べ、今は全然見られていない。もちろん全媒体を更新した方が良いが、その力の入れ具合をどう変えていくのかというところについて、もう少し聞けたらと思うんですけども。例えば TikTok とかには手を出すのか。どうですかね。
秘書広報課	TikTok については、まだ今のところは検討はしていないところですけども、当然、世の中の状況を見て、どういうもので皆さんに情報をお届けできるのかを考えております。今後、例えば Youtube 等での動画配信にも積極的に取り組まなければならないとか、新たなものが出てきたら、それがどのようなもので、皆さんにどれほど見ていただけるのかというところも含めて検討していかないといけないと思っております。
山口委員	もう1つ質問ですが、こういった SNS の活用については、専門家の意見を聞きながら行っているのか、それとも課の中だけで行っているのか、こういった形で進めているんですかね。
秘書広報課	今のところは担当課の職員が情報を集めて行っています。山口委員や島野委員がいらっしゃいますが、皆さんからご意見あるいは情報をいただいて進めていければということも含めて考えております。
山口委員	最後に意見として2つほどありまして、今後、予算が1,000万円以上、その半分は広報ふっつ等に使うので、ウェブ関連で言えば600万円くらいだと思うんですが、その内、年間10万円、月1万円でもいいので、専門家へのアドバイザリー業務として払えば、予算を数十万円ほど抑えたり、効果を今の数倍にあげることができるんじゃないかなと思います。ですので、是非予算の一部をそういった専門家へのアドバイザリー業務に支払うというところは検討いただけたらと思います。自分もこうしたらいいのではないかというのは言えるので、力になればと思っています。 もう1つ、目標達成状況についての意見で言うと、先ほど言ったとおりウェブの状況ですと Facebook が2024年に存在しているかどうか危ういわけです。なので、今後、目標指標を書く時には SNS フォロワー数と書くと都合がつけやすくなるので、そういった形に変えていけると媒体を変えることもしやすくなるのかなと思いました。
学校教育課	先ほど青木委員からご質問のありました36ページの「学力向上推進事業」、37ページの「読書活動推進事業」についてお答え申し上げます。

学力向上推進事業に係る指導補助教員ですが、今年度から放課後学習教室を全小学校で展開するために5人の方が増えています。また、図書の方ですが、教育振興費として学校ごとに予算要求をしまして、全校基金繰り入れにより令和4年度は増額となっています。一例を申し上げますと、青堀小学校においては、昨年度は48万6千円、今年度が58万3千円、令和4年度は76万8千円といった割合で図書振興費は増えております。

青木（和）委員

そちらの金額は全て図書の購入に使う金額ということでしょうか。

学校教育課

そのとおりでございます。

岩沢会長

よろしいでしょうか。それでは、ここで休憩に入ります。14時42分から再開します。

－休憩－

岩沢会長

それでは、会議を再開します。

引き続きまして、基本目標3と基本目標4について、ご意見等をお願いします。資料では68ページから107ページまでとなります。ご意見等ございましたら、お願いいたします。

鈴木（文）委員

46ページの「史跡めぐりや郷土史学習等の推進」について、この中の観光地魅力アップ整備事業等はどのようなことをしているのでしょうか。

生涯学習課

自分のくらす地域を好きになるということで、市内には内裏塚古墳群という関東地方を代表するような古墳群もございます。それらについて市の所有している古墳についても、来訪客に対して心地よく見学していただけるように伐採や草刈りを行い、環境を整備に努めています。

また、それとともに個人が所有する文化財、家の中で保管している文化財ではなくて、屋外にあるお墓や古墳等の環境を整えていただくために助成金、報償費という形で、来訪客が気持ちよく見学していただけるようなものにつなげています。

鈴木（文）委員

それは特に毎年そこを必ず見学で訪れるとか、お客さんがみえるとか、そういった時にするのではなく、常にとということですか。

生涯学習課

そうですね。いつ来ていただいてもいいようにということです。ただ、限度がありますので、年間通して常時きれいかと言えば、そこまで至っていない場合もあるというのが現実です。そこはまた今後、どのタイミングで見学に来ていただいてもいいように努めていきたいと考えております。

鈴木（文）委員	どれくらいの方が見学にいらっしゃいますか。
生涯学習課	見学者数は、生涯学習課にいつ見学に行きたいから案内してもらえないか、と連絡のあった数しか把握できていません。土日に何人来ているかとかまでは把握しきれていないのが現状です。
岩沢会長	ちなみに私はあそこを使わせていただいたことがありまして、郵便局で切手を作った時に、内裏塚古墳のものがあって、お客様と50人くらいでウォーキングをしたことがあります。その時、学芸員の方に紹介してもらいながら歩いていきますと、私も富津市で育ったんですが、こんなに大事な古墳だったんだと感ずることができました。是非機会があれば行ってみるといいと思います。
鈴木（文）委員	そうですね。連絡をして学芸員の方が付いて下さるのであれば、富津市にそういうものがあるのは、非常に大切なことだと思います。ありがとうございます。
島野委員	内裏塚古墳は半年くらい前にニュースにも出ていましたよね。内裏塚と弁天山をツアーするというので、news every. というニュースで取り上げられていました。鋸山だけではなくて、そういうところも段々有名になってきたのかなと嬉しく思っていました。
小宮委員	83 ページの「創業支援事業」について、予算事業としては、中小企業資金融資対策事業、商工振興関係費ということになります。当行も含めて金融機関は創業支援にかなり注力しています。融資の間口もかなり広めながら支援を行っているところなんですけれども、富津市でも創業者の支援、誘致を精力的に行っているかと思います。その中で、貸付金、利子補給のところは金融面の支援をしていくということだと思いますが、事業の成果というところだと、創業のセミナー参加者がほぼほぼ目標に到達する水準であり、これだけの方が富津市での創業を考えてセミナーに参加している中で、実際の創業者数は2020年度だと3事業者というのは、かなり少ないのかなというイメージです。関係機関や金融機関と市でも連携しながら資金調達を円滑に組めるような支援を行いたいというだけでは、創業を誘致するのは中々難しいのではないかと我々現場の金融機関では思っています。市として金融面以外での創業のメリットを付けていかないと創業者を誘致するのは難しいと思いますが、その辺はどのようにお考えでしょうか。
商工観光課	ご質問のあった創業者の関係ですが、市としましては、富津市創業支援事業計画を策定しておりまして、それに沿ってワンストップ相談窓口や創業セミナーを商工会の協力を得て連携しまして、商工会の方でセミナーを実施していただいています。そういったものを創業したいという方に対して支援を行っているところです。その計画に沿って、セミナー参加者に対して登録免許税の軽減等をできるような証明書の発行等をし

ていますが、ご質問のような創業者に対する実質的な他の支援というのは、今後、調査検討していきたいと思います。

小宮委員

ありがとうございます。事業者数の増加というのは地域の活性化に絶対繋がるものだと思いますので、富津市生まれの事業をいろいろ増やしていただきたいと思いますので是非積極的にやっていただきたいと思います。

島野委員

創生会議の場で申し上げるのがいいのかわからないですが、創業するのってすごくハードルが高いことだと私自身は思っていて、勇気のある方にやっていただければいいと思っているんですけど、やっぱり産業を誘致するという観点がすごく大事なのかなと思っています。

そうすると既存の企業をどう誘致するかというのがポイントになるのかなと思います。私自身は1年程前、去年の1月だったと思いますけど、NTTのグループ会社と富津市の包括連携協定で新しい事業をここで試させていただくテストを1年くらいやらせていただいています。そういう風にある意味開かれた地域として、いろいろなチャレンジを応援するようなことというのが行政に期待されるころなのかなと私は思っています。

1つは個人として創業される方がいらっしゃると思うので、そういうところをサポートするのが大事なのと、あとは既存の会社にどうやってここで事業をやってもらうかということにもう1つのポイントがあるのかなと思っています。是非そういったところのお力添えもしていただけるといいかなと思います。

それから、せっかく山口委員がいらっしゃるのので、山口委員みたいな事業のところは、創業支援とかフリーランスの方を育てるという事業でもあるので、そういうところで勉強すると富津市の仕事が1回くらい回ってくるみたいなことがあると、本当は皆がウィンウィンになるかなと思ったりします。

岩沢会長

今のはご意見ということでお願いします。

山口委員

76ページの「民間事業者と連携した移住情報発信による転入促進」のところで、こちらが移住者を増やすという部分かなと思うんですけど、実際この活動を通して移住相談数とか転入数がどの程度あったのかということと、自分自身も金谷にいるものの地域おこし協力隊の活動内容とかがあまり見えないところがあるので、こういった活動をしているのか教えてください。

企画課移住定住推進室

まず、地域おこし協力隊の活動についてお答えさせていただきます。現在、移住定住の関係では1名、地域おこし協力隊として活動していただいております。オール富津情報交流センター、通称AFICCと連携して活動を行っていただいております。この活動内容につきましては、AFICCで行っている移住、観光、仕事の関係について連携をしていくこ

	<p>ととなっていて、基本的に市の魅力を発信していただくことを重点的に行っていただいております。具体的な内容としまして、令和3年度は市の魅力を紹介する動画又は空き家を紹介する動画等をAFICCの方で公開して、その情報を見た方から連絡をいただいて、地域の中に入って活動していただいております。</p> <p>また、この活動においてどの程度移住者がいたかという部分につきましては、特に確認はできていませんけれども、地域おこし協力隊の隊員からの報告を聞く中では、かなり問い合わせはあり、特に金谷については、興味を持って移住をしたいという方が多数いると聞いております。</p>
山口委員	<p>かなりというところのどのくらいの人数でしょうか。大体の目安でいいです。</p>
企画課移住定住推進室	<p>具体的な人数については聞いていませんが、1日あたり2、3人の方からお電話があったりすると聞いています。</p>
山口委員	<p>そうすると年間で500、600人は富津に移住の興味があるということですか。</p>
企画課移住定住推進室	<p>そうですね。毎日2、3人というわけではないと思いますが、これはAFICC、地域おこし協力隊に限らず、市の移住定住推進室にも1日1件程度の移住に関する電話やメールがあったりしていますので、興味を持っている人数としてはかなりいらっしゃると思っております。</p>
山口委員	<p>それであれば、その数値を事業成果に入れるべきなのかなと思ったので、けっこう重要な数値かと思うので目標、成果指標を変えてでも報告すべきことなのかなと思いました。</p> <p>もう1つですが、地域おこし協力隊の方がしている仕事がいまいち見えなかったんですけども、もう少し具体的にもう一度説明してもらえますか。半年くらい働いたんですかね。</p>
企画課移住定住推進室	<p>現在活動していただいている地域おこし協力隊につきましては、令和3年10月から任用していただきまして、金谷ステーションを拠点として活動しています。</p>
山口委員	<p>2人とも金谷ステーションなんですか。</p>
企画課移住定住推進室	<p>いえ、もう1名は観光の関係で別の活動をしていただきまして、移住定住推進室の所管としては1名となっています。</p> <p>活動内容について具体的にということですが、現在は金谷ステーションを拠点として勤務している状況で、そちらにお越しになる観光に関しての来訪者、また、お電話があった時に観光について金谷を中心にご案内をしているというのが第一点になります。</p> <p>また、空き家について、金谷を中心に空き家の状況を調査し、また、空き家になっているところには所有者と接触して、空き家をどういう風</p>

	<p>に活用していくかという相談を受けたりする中で、買いたいという方との契約まで持っていったという件もあるようです。</p>
山口委員	<p>同じ金谷にいる立場として、そういった活動をしている印象をあまり感じられない。地域の空き家を探すとしたら、地域の人へのあいさつもすべきかなと思ひまして、あまりしている実態もないかなと思うので、もう少ししっかり監視というか、地域おこし協力隊の活動を管理する業務が市にあるかというのはまた難しいところかとは思いますが、もう少ししっかりすべきかなと思ひました。</p> <p>あと、事業成果については低すぎる気がしました。年間のアクセス数で2万となると、月2千PV以下になると思ひますので、さすがに低すぎる目標かなと思ひます。Youtube に関しても再生回数が1本で3千回というのは、そこまで多くない数字かなと思うので、この辺りも変えた方がいいのではないかなと思うので検討していただけると嬉しいです。</p> <p>最後のは意見です。地域おこし協力隊のところについては、実態がどうなんだろうと気になるところなので、何かコメント等あれば聞かせていただきたいです。</p>
企画課移住定住推進室	<p>おっしゃるとおり地域おこし協力隊の活動が目に見えないという点については、以前から懸念しているところではありますので、令和4年度以降は地域おこし協力隊がどのような活動をしているのか、もちろん市民の方を中心に目で見えてわかるような活動をしていただくよう、こちらでも地域おこし協力隊と連携して進めていきたいと思っております。</p>
森田委員	<p>さっきの LINE とインスタグラムの件は、僕は登録したので増えていると思ひます。古墳については、僕の農園の隣にも稲荷山古墳というのであるので是非見てもらえると。</p> <p>92 ページの「農地中間管理事業」ですが、達成状況というか農地の集積面積が 2020 年度で 0.9ha、2021 年度で 0.5ha となっているんですけど、農業委員会で会議している時にはもっと集積していると思うんですけど、この数字はどうなっているんでしょうか。</p>
農林水産課	<p>この数字につきましては、農林水産課で中間管理機構を通して集積した面積を挙げたもので、農業委員会との整合取れていなかったかもしれませんので、今後修正していきたいと思ひます。</p>
森田委員	<p>これでいくと 2022 年度の目標が 86ha になっているので、ちゃんと計算しないとすごく大変なのかなと思ひました。</p>
農林水産課	<p>今の 86ha という記載については、来年度から人・農地プランというのをどんどん進めていこうと農林水産課では考へておりますので、その目標面積として挙げているものです。目標としては、86ha と大きな数字で、実際に集積となるとそこまでいかない可能性もありますが、目標としてそこを目指していくという考へで挙げております。</p>

森田委員	たぶんこの0.5haよりももっと集積しているはずなので、ちゃんと面積をまとめあげれば86haはそんなに難しくない数字ではないかと思います。
鈴木（文）委員	84ページの「閉校施設等を活用した企業誘致」ですが、私が竹岡に住んでいるものですから、その旧竹岡小学校や旧環南小学校の公募の実施がありますが、今現在はどうな方向で進んでいるのでしょうか。
資産経営課	旧竹岡小学校の利活用ということで、事業の自己評価に書いてありますように旧竹岡小学校の利活用を考えるワークショップの開催を今年度に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、来年度の4月16日と5月14日に地域の皆さんのご意見を伺うという形でワークショップを2回開催することとなっております。その中の意見を踏まえつつ今後の公募の実施に向けて進めていきたいと考えております。
鈴木（文）委員	公募で挙がってくる事業者によっても違うとは思いますが、例えば地元の人たちは災害等があると避難場所になったりするんですけど、ここだけは残してくれるとか、市としてそういうのはありますか。
資産経営課	<p>閉校の利活用の中で、地域の方々のご意見としましては、やはり今まで地域の大事な施設であったこともありまして、避難所や地域の人々が集まるときに利用したいというようなご意見も出ております。これまで旧金谷小学校の利活用というのは実際に始まりまして、令和3年の11月から民間事業者に貸付を行っているんですけども、その中では契約の約束としまして、指定緊急避難場所や指定避難所であるとか、地域のためになる使い方もできるように配慮した上で契約をしております。</p> <p>あと、先ほど申し遅れてしまいましたが、旧竹岡小学校の他に旧環南小学校の利活用も3月22日から開始しております。</p>
鈴木（文）委員	<p>4月16日に参加できるようにしたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>それに伴い、竹岡にはコミュニティセンターがあって、津波等があると国道の向こうなので危ない所で、今のところはコミュニティセンターと学校を避難所に地区の方たちはしているんですけど、あそこは学校の方に避難ができるようになるとコミュニティセンターは利用できなくなるとか、そういうことってあり得ますか。</p>
資産経営課	避難の場所としましては、新型コロナウイルス感染症の関係もあり、より広い施設をとということで竹岡小学校が避難所として開かれていることが広報等されていると思いますが、現在においては、どちらの施設も避難所として使っておりまして、コミュニティセンターについては地域の方々と今後の方向性についてお話しているところです。

鈴木（文）委員	是非残してほしいとお話もいただいているものでお伺いしました。
山口委員	今のに付随した意見として、金谷小学校だったり、今後利活用の事業者は増えると思うんですが、是非地域の事業者や区長さんとかと繋いであげると今後の活動が円滑になるかと思えます。さすがに連絡先がわからないとやり取りしにくいというのと、地域側も自ら声を掛けるのはしにくいと思うので、そこは運営側、行政側でフォローするといいいのかなと思えました。金谷小学校は大丈夫だと思います。
資産経営課	ありがとうございます。我々としまでも民間事業者が決定した時には地域の皆様に説明会等を行って、知り合っていただく場というものがあるのが非常に大事だと考えておりますので、これからもご指摘のあった内容を肝に銘じながら、より地域と民間事業者を繋いでいって、地域との調和が図れるような形で閉校活用を進めていきたいと考えております。
山口委員	77 ページの「ステイふつつ移住促進事業」について伺いたいと思えます。これから事業開始とのことで、実際どういう事業をするのか教えてください。
企画課移住定住推進室	ステイふつつ移住促進事業につきましては、富津市に移住を検討している方を対象に、移住後の生活をより具体的にイメージしてもらうため、移住相談をするるとともに市内案内をするものになります。また、移住を目的とした住居探し、仕事探し、暮らしの体験等の移住活動をするために市内の宿泊施設に宿泊する場合、その宿泊費用の一部を補助する事業となっています。また、この補助金の対象者につきましては、45 歳以下の市外在住者、対象経費としましては、市内宿泊施設の宿泊費、補助金額としましては、1 人当たり 1 泊の基本宿泊費の 2 分の 1 位内としまして、上限を 5 千円、これを 2 泊分までとしています。また、1 世帯当たり 1 回の補助金交付となり、1 世帯当たりの上限は 4 万円としています。この計算につきましては、1 人当たり 1 泊の基本宿泊費の 2 分の 1 位内が 5 千円、これが 2 泊分まで 1 万円、それが世帯 4 人分という計算で 4 万円としています。
山口委員	移住相談を増やすというよりは、今来ている移住相談に対するフォローという意味ですかね。
企画課移住定住推進室	もちろん移住相談を増やしたいという思いもありまして、また、45 歳以下というところで、現在市の最重要課題となっている年少人口の減少抑制をする目的もありますので、そのような 45 歳以下の若い方々、若い世代のご家族が興味をもってもらえるようこのような事業を開始することとしております。
山口委員	追加で 2 つ聞けたらと思ひまして、先ほど移住相談が市にも来ているということで、その移住相談は主に富津市のどの地域が多いのかという

	<p>のが1つと、もう1つが市内の宿泊費の補助ということで、こういった宿泊施設と提携する予定なのか聞かせてください。</p>
企画課移住定住推進室	<p>まず、どの地域が一番問い合わせがあるか、相談があるかという点につきまして、目立つ地域としましては市の北部ですね。かなり住居がある地域、買い物に便利な地域というのがまず1つ。また、もう1つは反対に天羽地区の方ですね。田舎暮らしをしたいから古民家を探しているという方がかなり多い状況です。</p> <p>また、補助金に関しまして、市内宿泊施設のどこと提携するかという部分につきましては現在検討中ではありますが、この辺りは広い範囲で適用できるよう検討しております。</p>
山口委員	<p>今年開始だと思うので決まっていなくても多いかと思いますが応援しています。最後に意見なんですが、企画課は忙しいと以前から聞いているので、こういった事業も民間と連携して委託というか、もっともっと任せていくと負担が少なくできるかと思うので、移住関連については力になれるかと思うので何か協力できたらと思っています。</p>
岩沢会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>－特に無し－</p>
岩沢会長	<p>よろしいですか。いろいろとご意見ありがとうございました。創生会議を続けていまして、先ほど森田委員からも感想で良かったよという話もありましたが、やはり各委員からいろいろなアドバイスをもらって、市の方々も一生懸命対応していただいている成果が出てきているかなと思います。いろいろな意見が出てきまして、専門家もいらっしゃいますし、支援もしていただけるかとも思いますので是非こういったところを上手く活用して、ウィンウィンでやっていければいいのかなと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>
	<p>5 その他</p>
岩沢会長	<p>それでは、本日の議題については全て終了しましたが、その他として委員の皆様から何かございますか。</p>
委員	<p>－特に無し－</p>
岩沢会長	<p>事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>次回の会議につきましては、来年度9月頃を予定しております。あらためて通知等を出させていただきますのでご承知おき願います。事務局からは以上です。</p>

岩沢会長	<p>それでは、以上をもちまして、全ての議事を終了とさせていただきます。本日の会議内容は、会議録の確定をもって、取りまとめとさせていただきますので、ご了承ください。円滑な議事進行にご協力を頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局に戻します。</p> <p>6 閉会</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>閉会に当たりまして、小泉副市長からご挨拶申し上げます。</p>
小泉副市長	<p>本日は長時間に渡りまして、活発なご議論、多くのご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>会議冒頭でも市長から申し上げましたが、令和4年度には「富津市みらい構想」を策定いたします。市が目指す10年後の将来像の実現に向けまして、市民の皆様とともに取り組んでまいります。今後も市にとりましては「人口減少」は最大の課題となります。引き続き、委員の皆様からご意見等いただきながら、総合戦略の着実な実行に取り組んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。</p> <p>最後になりますが、この4月の人事異動に伴いまして、今年度をもって異動となります事務局の職員のご報告をさせていただきます。</p> <p>市原総務部次長、田内企画課長補佐、野尻主任主事、田澤主任主事、以上4名につきましては4月以降新しい部署に参りますが、引き続き執行部の立場としてまた参加するかと思いますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上で、私からの挨拶とさせていただきます。本日は長時間に渡りありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、令和3年度第2回富津市創生会議を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>(終了時刻 午後3時20分)</p>

以上